

令和6年度 第4回学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年1月16日（木）14時20分から16時30分まで
- 2 開催場所 和田小学校 視聴覚室
- 3 出席委員 安藤 小ゆり、神谷 みち子、鈴木 滋芳、林 實、箕浦 利弘
- 4 欠席委員 齋藤 博、早川 智美、山内 慶一
- 5 教育委員会 井島 健蔵（指導主事）
- 6 オブザーバー なし
- 7 学校 横井 靖二（校長）、岡本 綾子（教頭）、中西 伸（主幹教諭）
小粥 万祐子（CSディレクター）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 小粥 万祐子
- 10 会長挨拶 欠席のため割愛
- 11 校長挨拶
- 12 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、鈴木委員を推挙する旨の発言があり、全員意義なくこれを承認した。

- 13 前回会議録確認

- 14 協議事項

(1)授業についての意見交換

(2)来年度の学校運営について～2学期教育課程アンケート結果をもとに～

- ・教育課程アンケート結果・考察・改善策
- ・改善策についての話し合い

- 15 会議記録

司会の岡本教頭より、委員総数8人のうち5人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1)授業についての意見交換

会議前に授業参観を行い、それについての意見交換をした。

- ・来校時、寒い中、草取りをしている子がいて感心した。（箕浦委員）
- ・毎年暮れに、地域のお年寄りにプレゼントをしていて、6年生の子供たちが書いてくれた手紙を添えている。手紙を読んだ高齢者の方たちから、感謝の言葉を預かった。ぜひ子供たちにお礼を伝えてほしい。（箕浦委員）
- ・外ではなかなか挨拶が出来ないという声も聞くが、地域の方から、最初は自分の方が知らない子だからと、挨拶するのを迷っていたが、子供たちの方から挨拶をしてくれて本当にうれしかった、という声も届いている。（箕浦委員）
- ・3年生の書き初めが、のびのびと元気に書いてあると感じた。授業では、カルタをしていて、お正月らしくていいなと感じた。季節の物を取り入れて教えてくれたら、有難い。（安藤委員）

- ・先日、6年生の授業にボランティアで入った際、ひまわり学級の子も男の子も女の子も子供たち同士で助け合っていて、落ち着きもあり、とてもいい雰囲気だと感じた。
(安藤委員)
- ・3年生の図工で、金づちと釘の説明をしていた。自分の時代は、家で使いながら覚えたものだが、そういうご時世になったのかと驚いた。
(林委員)
- ・4年生の算数で、ひっ算をやっていた。めんどうな計算は電卓を使うと思っていたが、しっかりと計算の過程を学んでいた。
(林委員)
- ・3年生、4年生の国語で、文章を作成しているクラスがあった。昨今は、文章作成の授業は少ないのかと思っていたが、やはりこれが基本だと思った。
(林委員)
- ・6年生の社会で、戦争について学んでいたが、戦時体験を語り継ぐのは難しいと感じた。空襲の様子をモニターを使って教えていて、教育機材の発達に感心した。
(林委員)
- ・冬休み明けだが、全体的に落ち着いた雰囲気だと感じた。
(神谷委員)
- ・若い先生が、新年度始めより自信をもって授業を進めていて、先生の成長も感じられた。授業の進め方を黒板に提示してあり、工夫していた。子供ともいい関係を築けていると感じた。
(神谷委員)
- ・先生が工夫して授業を進めていて、子供たちが楽しそうに取り組んでいると感じた。
(鈴木委員)

(2)来年度の学校運営について～2学期教育課程アンケート結果をもとに～

各部担当教諭から別紙資料（「令和6年度学校評価及び学校関係者評価」）に基づいて来年度の学校評価及び学校関係者評価について説明があり、委員から以下の発言があった。

①「知」知育向上プランについて

- ・学校評価は、和田小が任意でやっているのか全学校でやっているのか。また、これは保護者に公開しているのか。
(林委員)
- ⇒学校評価は、法律で定められていて、全国の学校がやっている。浜松市では、3月の始めに市教委に提出していて、保護者の方には、HPで公開している。
(中西主幹)
- ・年々、ICTを活用した授業が増えていることがうかがえる。これから先、新たなソフトウェアが開発され、益々ICTを活用した授業のウエイトが高まると思われるが、従来型の授業も優れたものがあり、バランスのよい使い分け、新たなソフトの有効性の検証が必須である。
(林委員)
- ・授業のUDで工夫していることはどんな事か。
(安藤委員)
- ⇒集中して取り組めるように、机に出すものを決め、整とんを促している。タイピングでキーボードのアルファベット表記が苦手な子にはシール等を活用している。授業の振り返りをして、子供の理解度や困り感を把握し、支援に生かしている。
(学校担当教員)
- ・みんな一緒に取り組める環境にしていかなければいけない。
(箕浦委員)
- ⇒本校には発達支援学級が2クラスあるが、通常学級の子供たちが支援学級のことを正しく理解できていないのではないかと不安がある。クラスにもいろんな子がいる、人にはいろんな特性があることを受け入れて、お互いに尊重し合って生きていくことを大事にしなければならない。今年度を振り返ると、十分ではなかったと感じる。
(校長)

- ・ICTの活用が進み世の中が変わっていくなか、これからの時代は、自分で何を学ぶか、何を学ばなければいけないか見つけていかなければならない。今後どのような時代になるのか予想もつかないが、それでも生きていける力を身に付けていかなければならない。

(神谷委員)

- ・学びのサイクルの確立について、引き続き、改善含め取り組んでいただきたい。

(鈴木委員)

②「徳」徳育向上プランについて

- ・不登校の児童が放課後クラスで授業を受けていたり、転校してきた児童と近所の子たちが放課後一緒に遊べるよう声を掛けたりと、先生がきめ細やかにサポートしていると感じる。

(神谷委員)

- ・ボランティアで授業に参加した際、子供たちが完成した物を見せてくれ、褒めるととても嬉しそうだった。ボランティア参加者にも小さなことでも褒めてあげるよう声掛けをしている。

(神谷委員)

- ・10年くらい前から学期末に安間町公会堂で、自治会の協力のもと民生委員が中心になって、不登校傾向の子供や家庭に事情のある子供たちを受け入れている。そういう場があることも保護者の方にも知ってもらいたい。学校と協力して子供たちを受け入れていきたい。

(箕浦委員)

- ・一人一人不登校の理由は違うので、それに対応していくのは先生方も大変だと思う。私たち民生委員が関わるのも、安間町公会堂での活動も含め、民生委員さんたちの熱意があればこそ出来たこと。なかなか簡単に出来ることではない。

(安藤委員)

- ・不登校に対して学校としての取り組みには限度がある、やはり行政が中心となって進めてもらうべき。市としての取り組みを聞かせていただければならぬお願いしたい。

(林委員)

⇒基本的には、カウンセラー、スクールソーシャルワーカーが、専門機関・福祉機関と繋がっていく。しかし、その子の気持ちを聞いていかなければ会うことすらできない状況もあるので、気持ちを解きほぐすために地道な活動をしていただいている。

(井島指導主事)

- ・スクールソーシャルワーカーに、協議会に来て話を聞かせてもらうのはどうか？現状を聞かせてもらうことで、私たちが対象児童の心理・心境を理解する一助になるのではないか。

(林委員)

⇒「どことも繋がっていない子どもをなくしたい。」というのが、市教委の考えであり、県教委も同じ考えである。県教委の動きとして、アバターを使って交流をする活動が、来年度、正式に稼働予定である。こちらは、浜松にも案内がきているが、浜松市は、やはり直接の関わりがいいと考え、テレビ会議のような形で繋がりを作っていかようとしている。「学びの教室」とオンラインで繋がる事業がこの冬から始まったところである。

(校長)

- ・異学年交流がいいと思う。高学年は責任感が、低学年は安心感がうまれる。いじめに対しても捉え方が変わってくる。いろんな環境の中で過ごすことで、何かしら得られるのではないか。

(鈴木委員)

③「体」体育安全向上プランについて

・外で遊ぶ場所も限られていると思うが、安心して遊べる場所・環境が必要。市としても考えていただければ有難い。(箕浦委員)

・下校時、家が遠い子はどうしても最後1人になってしまうが、学年ごと、同じ時間に学校を出られるよう、終わりの時間が一緒になるように、先生方が気にしてくれている。

(神谷・林委員)

・5, 6年生になると生理が始まる子がいる。最近、スポーツやダイエットの為に食事制限することが低年齢化しているの、小学校高学年になるとする子が出てくるのではない。生理にも影響があるし、ダイエットは拒食症にもつながるので、機会があれば指導していただきたい。(安藤委員)

⇒5年生の林間学校の前に学年全体(女子のみ)に指導している。(校長)

⇒4年生の体育科の保健の学習に含まれている。既に生理が始まっていて分かる子もいるが、実感出来ないときに学習している子が多い印象はある。特に男子。(中西主幹)

・孫との実生活から食育の大切さを感じている。給食でおいしかったメニューを家でも作ってほしいとリクエストがある。(林委員)

④信頼される学校づくり

・参観会は日時を決めた形での開催しかないのか。フリー参観を実施してはどうか。

(箕浦委員)

・年度ごとのボランティア別の延べ人数を見られるようにして、コミスク便りで発信したら、コミュニティ・スクールの理解へつながるのではないか。(林委員)

・初期対応を確実に迅速に行う事、抱えこまずに情報共有が大事。(鈴木委員)

・以前は学校公開日があったが、今はないのか。(神谷委員)

⇒実施していない。子供の様子が気になる方は、様子を見に来ていただくのは、構わない。(校長)

⑤令和7年度教育目標について

校長から令和7年度和田小学校学校経営構想について説明があった。

16 その他

◎学校支援活動について

・神谷委員より令和6年度2学期までのボランティア実施状況の報告があった。

◎教育委員会 井島健蔵指導主事より

◎諸連絡

・次回の学校運営協議会は令和7年2月18日(火)に開催するとの報告があった。

以上